

## 女川原子力発電所 2 号炉 審査会合における指摘事項の回答一覧表（竜巻影響評価）

## ＜共通＞

No.	分類	指摘事項	審査 会合日	回答
1	共通	ノンクラスの施設については、竜巻防護施設とすべきものはないのか説明すること。	H27. 2. 3	本日回答予定 資料 1-4-2 添付資料 2 p. 添 2-1
2	共通	防護対象の抽出において、倒壊等により防護対象に影響を与えうる設備の抽出が漏れなく行われているか説明すること。	H27. 2. 3	本日回答予定 資料 1-4-2 添付資料 8 p. 添 8-2～8-8
3	共通	ウォークダウンの詳細について説明すること。	H27. 2. 3	本日回答予定 資料 1-4-2 添付資料 8 p. 添 8-1～8-3
4	共通	竜巻影響評価ガイドにおいては、竜巻検討地域の設定に際し、国内においてサイトと類似した地域を検討に加えることを意図しているが、この考え方への適合性について説明すること。	H27. 2. 3	本日回答予定 資料 1-4-2 添付資料 9
5	共通	竜巻の発生要因として、台風との関連を考慮し説明すること。	H27. 2. 3	本日回答予定 資料 1-4-2 本文 p. 30～40
6	共通	竜巻検討地域の設定やその地域での竜巻の検討において、突風関連係数の使用目的及びその活用方法について説明すること。	H27. 2. 3	本日回答予定 資料 1-4-2 本文 p. 13 添付資料 9
7	共通	突風関連指数を用いて特定規模の竜巻の発生の可能性を評価する妥当性を説明すること。また、米国での竜巻発生に基づく経験式である EHI を我が国の竜巻発生評価への適用の妥当性を説明すること。なお、国内の限られたデータと米国文献のグラフで示されている誤差範囲を踏まえ、EHI と F スケールを関連付ける妥当性について説明すること。	H27. 2. 3	本日回答予定 資料 1-4-2 本文 p. 13 添付資料 4 p. 添 4-37～39 添付資料 5
8	共通	突風関連指数の不確かさを踏まえて SReH 及び CAPE 指数の閾値設定の妥当性を説明すること。	H27. 2. 3	本日回答予定 資料 1-4-2 添付資料 4 p. 添 4-41～44
9	共通	気象庁での突風関連指数の適用状況を詳細に説明すること。	H27. 2. 3	本日回答予定 資料 1-4-2 添付資料 5

No.	分類	指摘事項	審査 会合日	回答
10	共通	①過去発生した竜巻についてはVB1とVB2の設定については統計処理の妥当性について説明すること。 ②昨今の気象変動を踏まえて将来に発生することが想定される竜巻への考慮について説明すること。	H27. 2. 3	本日回答予定 資料1-4-2 ①本文 p. 63~69 ②本文 p. 70
11	共通	(竜巻) 竜巻影響評価に関し、基準竜巻設定の信頼性(考慮している地域等)や、飛来物への防護策に関する妥当性等を説明すること。	H25. 11. 28	竜巻影響評価全般で説明

< 個社 >

No.	分類	指摘事項	審査 会合日	回答
1	個社	竜巻防護施設の抽出に関し、クラス3施設については抽出フローからは代替性や修復性により除かれているが、その代替性や修復性をどのように確認しているのか説明すること。	H27.2.3	本日回答予定 資料1-4-2 添付資料1 p.添1-1, p.添1-8~1-11,
2	個社	竜巻防護施設の抽出に関し、はじめに竜巻時に必要な施設に限定していることについて、説明すること。(そもそも、竜巻時に必要か否かではなく、防護すべき安全施設があり、それが竜巻の影響を受けるのか否かではないのか。)	H27.2.3	対象外
3	個社	防潮堤については、竜巻による影響の有無及び影響がある場合は修復までの間に津波による被害を受ける可能性の有無について説明すること。	H27.2.3	本日回答予定 資料1-4-2 添付資料3 p.添3-1
4	個社	防護対象の抽出において、安全機能が維持されること等を詳細に説明すること。	H27.2.3	対象外
5	個社	竜巻防護施設に波及的影響を及ぼし得る施設の抽出において、検討した施設の高さが防護施設までの距離より小さいものは抽出対象から除外されているが、そうした施設についても飛来物となって竜巻防護施設へ二次的影響を及ぼす可能性についても説明すること。	H27.2.3	本日回答予定 資料1-4-2 添付資料8 p.添8-8
6	個社	重大事故等対処施設について竜巻による機能喪失時の機能の代替性の有無の検討に関して、屋外保管可搬設備等については、必ずしも位置的分散だけで代替性が期待できるとは判断できない。期待する代替設備あるいは代替機能が外殻となる建物内にあるかどうかとも考慮して説明すること。	H27.2.3	対象外
7	個社	竜巻ハザード曲線の算定に用いる51.5年の擬似データにF3の発生を仮定した評価結果を示すこと。	H27.2.3	本日回答予定 資料1-4-2 本文p.67~69
8	個社	浜岡4号機の再申請で使用済燃料乾式貯蔵施設が追加された件、今後の審査の進め方について、改めて書面にて説明すること。	H27.2.3	対象外

No.	分類	指摘事項	審査 会合日	回答
9	個社	使用済燃料乾式貯蔵施設の竜巻防護に係る基準適合性について、説明方法を含め、整理して説明すること。(全体に含めて説明するのか、当該施設のみ切り離して説明するのか、説明方法を整理すること。後者であれば、単体で十分な説明が必要となる。)	H27. 2. 3	対象外